

指定管理者のモニタリングシート

1、基本情報

確認年月日: 令和6年12月24日

施設名	盛岡市見前南地区公民館		
住所	盛岡市西見前13地割50番地		
指定管理者名	第一商事株式会社	所管課名	生涯学習課
指定管理料(年額)	18,345,396円		
今回確認期間	令和5年12月1日	から	令和6年11月30日 まで (12ヶ月間)

2、業務の履行状況の確認について

(1) 稼働実績

項目		今期計画	今期実績
開館日数		331日	331日
延べ利用者数	個人	500人	758人
	団体	15,000人	16,295人
主要事業開催回数	家庭教育支援・青少年教育事業	14回	14回
	成人教育事業	8回	10回
	高齢者教育事業	17回	17回
	芸術・文化事業	9回	11回
	地域連携事業	3回	3回
	自主事業	2回	2回

(2) 管理運営実績

項目		確認欄
設置目的	施設の設置目的及び市の施策の成果向上に果たす施設の役割を理解し、これらに沿った管理運営がなされているか。	適・要改善
平等利用	市民・利用者の平等な利用が確保されているか(一部の市民・利用者に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることが行われていないか。)	適・要改善
施設の効用の発揮	施設管理	
	建物・外構の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	適・要改善
	設備の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	適・要改善
	建物、外構、設備の修繕の履歴は整理、保管されているか。	適・要改善
	現金・備品等の管理	
	現金は適正に管理されているか。	適・要改善
	鍵は適正に管理されているか。	適・要改善
	施設に配置されている備品が適正に記録・管理されているか。	適・要改善
	備品の購入、廃棄、修繕の記録について整理、保管されているか。	適・要改善
	事業実施	
	仕様書及び事業計画書で実施することとしている事業が実施されているか。	適・要改善
管理の確保能力	危機管理	
	危機対応の手順は整備されているか。	適・要改善
	適正な人数の職員が配置されているか。	適・要改善
	職員の資質向上のための研修等の取組みが実施されているか。	適・要改善
	適正な労働条件が確保されているか。	適・要改善

(2) 管理運営実績(続き)

項目		確認欄
個人情報保護	施設で取り扱う個人情報は、特記仕様書に基づき扱われているか。	適・要改善
その他	市と指定管理者の間で指定管理業務について記録することとしている事項について、記録が整備されているか。	適・要改善
	あらかじめ市に協議すべき事項について、適時に協議がされているか。	適・要改善
	市と指定管理者の間で指定管理業務について報告することとされている事項について、適時に報告がなされているか。	適・要改善

3、サービスの質の確認について

(1) サービス提供の状況

項目		確認欄
職員対応	職員の身だしなみは適切か	適・要改善
	利用者への対応のマナーは適切か	適・要改善
	利用者に対する職員の案内、説明は分かりやすく丁寧に行われているか。	適・要改善
施設管理	施設は清潔に保たれているか。	適・要改善
	施設内の案内が利用者にわかりやすく表示されているか。	適・要改善
	施設は利用者が利用目的に沿って安全に使用できる状態になっているか。	適・要改善
要苦望情	利用者からの苦情・要望に対し、適切な対応がなされているか	適・要改善
	利用者からの苦情・要望について、市への連絡報告が適切に行われているか	適・要改善
利用促進	事業実施の周知が適切になされているか。	適・要改善
	使用許可手続きは円滑に行われているか	適・要改善
	ホームページは「公の施設の指定管理者のインターネット利用指針」に沿って作成されているか。	適・要改善

4、指定管理者が施設の管理運営及びサービスの質を向上させるために工夫した事項

- 一日3回の館内外の施設点検や貸館後の点検・清掃・消毒等を確実に実施することで、利用者が安全・安心してご利用いただけるように努めた。常に館内を清潔に保ち、利用者に気持ちよく、利用してもらうことで、公民館のイメージアップに努めた。
- 来館者に積極的に挨拶や声掛けを行い、親しみをもって館をご利用いただけるように努めた。来館者との会話も多くなり、利用者と職員の信頼関係が深まった。
- 四季が感じられる掲示や生け花、鉢植え、サークル活動で制作した作品を展示したり、オープンスペースに地域の方々が制作した絵画や写真を掲示したりすることで、公民館が明るく、楽しい雰囲気になり、喜んで使っていただけるように工夫した。
- 講座案内や公民館だよりを地域に回覧したり、館内に公民館の講座やサークル活動の様子の写真、ポスターなどを掲示したりすることで、地域の方々に対しての情報発信に努めた。今年度から、小学生向けの講座のチラシを、見前小学校にも配付することで、講座の参加者が多くなった。
- 様々な世代の方々や地域の方々のニーズに即した講座を新設したり、内容を工夫したりした。その結果、小学生とその保護者や40代～60代の比較的若い世代の方々、男性の方々の講座参加者が増加し、講座全体の参加者の増加につながった。

5、モニタリング結果を踏まえた今後の管理運営の方向性

指定管理者	所管課
●時代や地域のニーズに即した講座、老若男女誰でも積極的に参加できるような講座を豊かな発想で工夫しながら実施する。 ●コミュニティの拠点となるよう自治会・町内会や老人クラブ、サークル等の支援に努め、利用満足度や施設利用者数の維持・向上を図る。 ●清潔で、快適な公民館の環境づくりに努めるとともに、安全・安心な施設運営ができるように館内外の点検、修繕を行う。非常事態への対応に備えるため、近隣自治会と連携し、避難訓練等実効性のある運営に努める。	各種事業の実施に当たっては、講座の内容や周知方法を工夫し、これまで公民館を利用したことがない市民も利用することで、講座受講者数が増加していることを確認できた。また、施設内は常に清潔に保たれ、利用者が心地よく利用できるよう心配りがされているだけでなく、明るい雰囲気子どもたちも安心して利用できる空間となっていることを確認した。 今後も、民間事業者としてのノウハウを生かし、様々な人が興味を持ち、参加できる講座の開催と、地域コミュニティの拠点として、居心地がよい空間づくりをし、安心安全に利用できる公民館の管理運営をお願いしたい。